

平成26年度NPO等による文化財建造物の管理活用事業

I.事業名称等

寺町谷中の歴史的風致を守り、活かす 防災対策の検討

【実施団体】 特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会

【事業経費】 1,500,000円



2.事業の目的： 伝統木造のまちと防火対策

- 歴史的建物を、まちの暮らしの文化の証として、保全・活用していく。
- そのための手立てとして伝統木造建築の防火対策を検討する。
- 建築安全、密集市街地の不燃化等の重要性を理解し、谷中界限で取り組まれてきたまちづくりの方針に合わせて、「防災と歴史文化資源の両立をはかるまちづくり」に資する防火対策、制度等を検討・紹介する。
- 地域で火災に関する基礎的情報を共有し、谷中における火災のリスクについて共通理解を持ち、地区全体で取り組むべきことがらを認識して防火体制の強化を図る。

保存活用中の建物例：旧平櫛田中邸・ カヤバ珈琲・ 市田邸



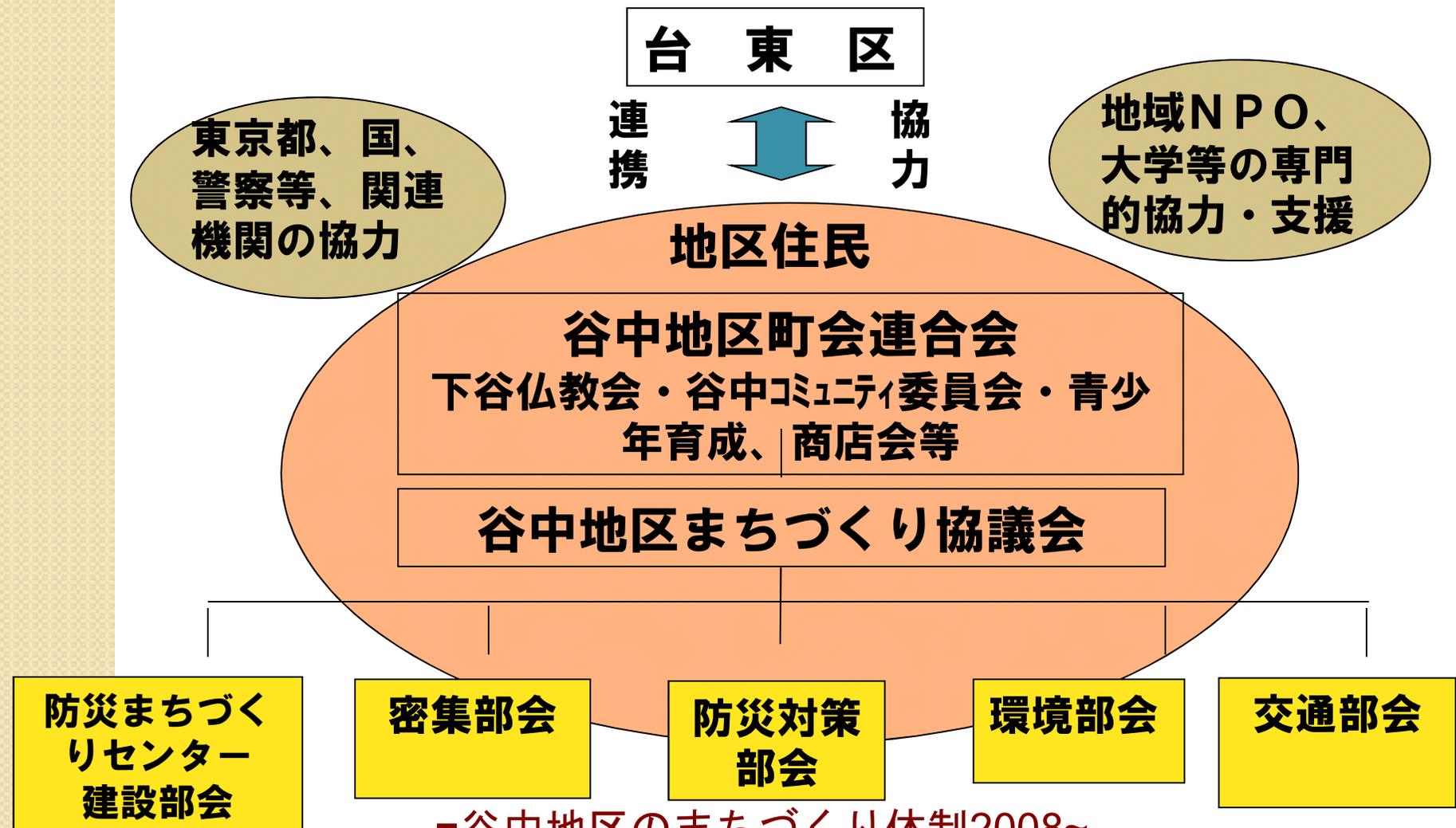
3.事業活動の内容

- 1)伝統木造建築の防災対策検討 →10件の調査と実測研修
- 2)防災対策講座の実施 →4回の勉強会
第1回 「谷中の建物と暮らしを活かす~木造建築の防火対策~」
第2回 「伝統木造建築群を活かす、まちぐるみの防災対策」~川越~
第3回 「谷中の伝統木造の防火安全性を高めよう！防火対策&消火訓練」
第4回 「寺町谷中の木造と路地を活かせるまちづくり」
- 3)パネル作成・展示 →「芸工展」、平櫛田中邸で展示紹介
- 4)「谷中地区 木造建築の防火の手引き」の作成 →1000部発行



5.事業実施後の課題

- ・谷中地区の伝統木造の保存活用と防火対策の課題・手法を地域の方、建物所有者・活用に周知・普及する。
- ・今後地区町会連合会、まちづくり協議会、台東区、東京都との連携を図る。



■谷中地区のまちづくり体制2008~

6. 今後の展開：防災と歴史的風致・暮らしの文化の両立に向けて

- 「防火の手引き」をもとに、伝統木造の所有者・活用に木造建物の防火対策や維持管理の情報をひろめる。
- 実測研修を継続的にできるしくみをつくり、所有者・活用者が伝統木造の建物の価値を知り、維持管理を自分で考えられる機会を増やす。
- 建物調査に協力できるメンバーも増やしていく。
- 将来的には伝統木造の耐震対策、維持管理活用の工夫について地域団体、専門団体と協力して検討していく。
- 谷中地区住民の方々との協議、消防署、台東区・東京都などの関連諸機関への相談を通して、「**防災と歴史的風致・暮らしの文化の両立**」にむけて具体的な解決策を見いだしていきたい。